

3. 健康なくらし



三浦市環境センター（編集委員撮影）

わたしたちは、毎日、健康なくらしをしたいと願っています。
そのために、わたしたちが住んでいる三浦市では、ごみのしよ
りや飲み水かくほなどのため、どこで、どのような仕事を進めて
いるのでしょうか。

また、ほかの市や町、県と、どのように協力し合っているの
でしょうか。調べてみましょう。

学習のめあて

- 1 学校や家などから出るごみ（または、下水）は、どのようにしよりされているのでしょうか。
- 2 水道の水（または、電気・ガス）は、どこから、どのように送られてくるのでしょうか。

(1) わたしたちのくらしとごみ



ごみステーション (編集委員撮影)

朝、学校へ行くときや、^{どうろ}道路わきのごみステーションに、
ごみがたくさん置かれているのをよく見かけます。

ビニルぶくろに入ったもの、あきびんやあきかんなどがありま
す。これらのごみは、どんな方法^{ほうほう}で集められて、どのようにしよ
りされているのでしょうか。みんなでお考え、^{じっさい}実際に^{しら}調べてみま
しょう。

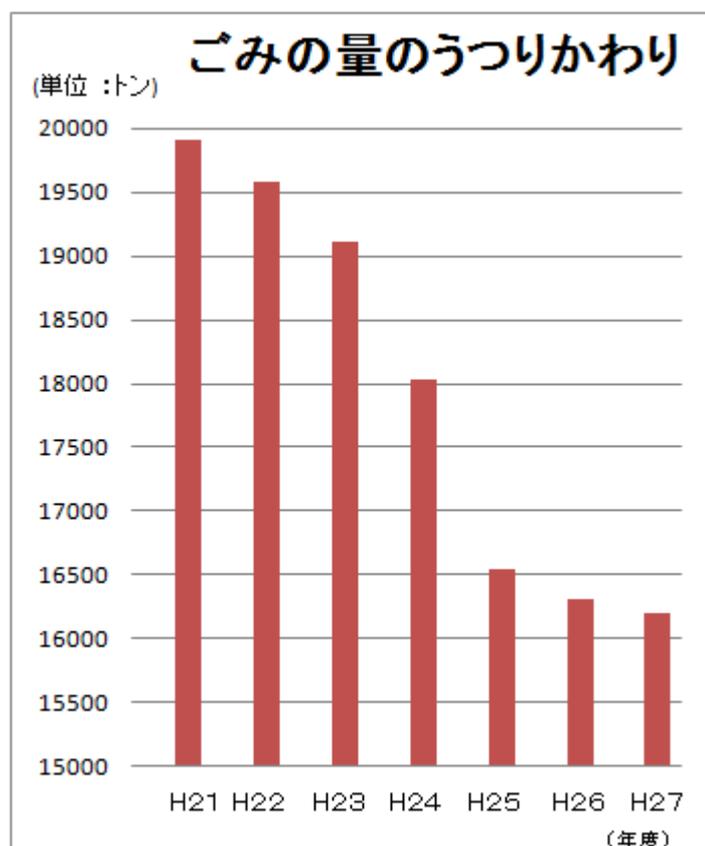
◆学校のごみ、家庭のごみ

わたしたちの学校や家では、毎日の暮らしの中でいろいろな種類のごみが出ます。

どのようなごみがあり、市全体ではどのくらいの量になるのでしょうか。また、それらのごみは、どのようにしゅりされているのでしょうか。



ごみの分別収集（編集委員撮影）



(廃棄物対策課の情報をもとに編集委員作成)

「一人一日、小さなイチゴ一個分のごみをへらそう」を目標に学校や家でも、ゴミをへらす工夫をしてきました。

今も、どんな工夫をしているか調べてみましょう。

H28年度 15849 t

H29年度 15889 t

ゴミの量が減少している理由

- ・人口の減少
- ・分別が進んでいること

◆ごみのゆくえ

ごみ集めは、市の仕事として行われています。

ごみ収集車の横には、三浦市のマークがついています。また、集めに来る日や出す場所も決まっています。

ごみ集め



ごみステーションのある所（三浦海岸付近）



（環境課調べ）

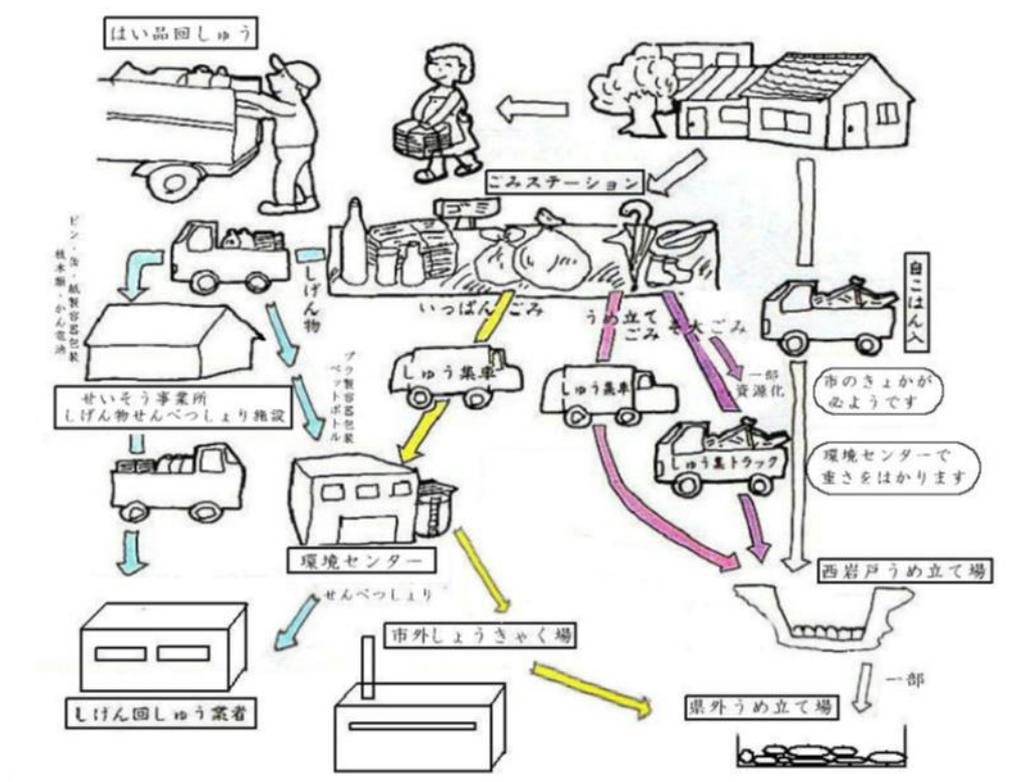
ごみの分別

* 家電4品目はお店へ

(環境部廃棄物対策課資料より作成)

種類	回数	品物
燃せるごみ	週2回	生ごみ、プラスチック使用製品、ゴム製品、ビニル製品、その他
えだ 枝・木・草葉類	月2~3	枝・木・草など
不燃ごみ	月2回	ガラス、陶器、 ^{とうき} リモコン、ドライヤーなど
ペットボトル	週1回	ペットボトル
びん・かん・金物	週1回	あきびん、あきかん、なべ、やかんなど
新聞・雑誌・ダンボール	週1回	新聞、チラシ、本、ダンボールなど
古着古布、蛍光管類 破砕できないごみ	月2回	服 ずぼん、カーテン、蛍光管類、ライターなど
プラスチック製容器包装物	週1回	食品トレイ、菓子袋、 ^{か し ぶ くる たまご} 卵パック
そだい 粗大ごみ	もう こ 申し込み	タンス、自転車、カーペットなど

ごみのゆくえ



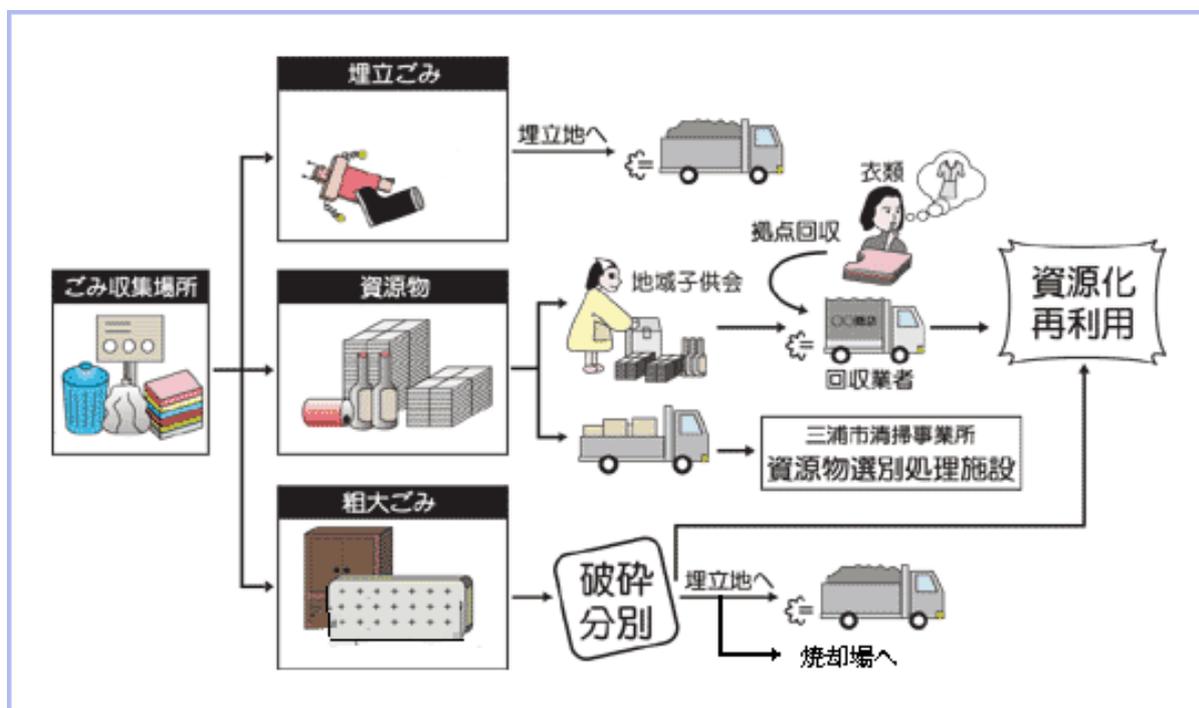
(廃棄物対策課調べ)

◆ごみのしより

環境センターでは、いろいろなごみの中から、焼却する一般ごみを、集めておく集積所の役割をしています。

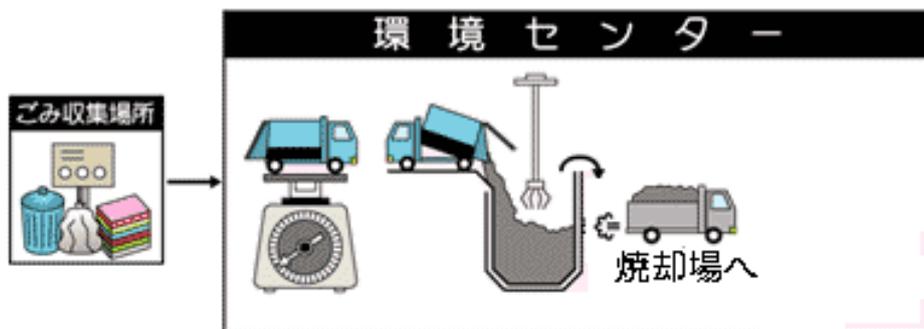
その後、集められたごみは市外の焼却場へはこばれます。

[埋立ごみ・資源物・粗大ごみ]



(廃棄物対策課提供)

[一般ごみ]



(廃棄物対策課提供)

三浦市一般廃棄物最終処分場は、三浦市と横須賀市の不燃ごみや粗大ごみをしよ理する過程で出る、不燃性ごみをうめ立てしよ分するところでは、



三浦市一般廃棄物最終処分場

(編集委員撮影)

家から出されるびん・かん類は、機械で選別・圧縮しよりして、びんは色別のガラスくずとし、かんはアルミニウムとスチールに分けてプレスし、それを再利用する業者に引き取ってもらっています。また、2000年からは、ペットボトルも分けて収集し、資源化しています。その後、紙パック・ミックスペーパー・紙製容器包装・プラスチック製容器包装・枝・木・草葉類なども資源化するようになりました。

現在、横須賀市とのごみ処理広域化を進めており、H32年2月に広域の最終処分場が完成する予定です。このような施設を長く使うためには、きちんと分別をしてごみを出すことが大切です。



プレスされたペットボトル
(編集委員撮影)



アルミかんとスチールかんに分ける
(環境センター提供)



びんの色分け作業 (環境センター提供)



プレスされたかん (編集委員撮影)

数で見るごみしよりのいろいろ

ごみの量

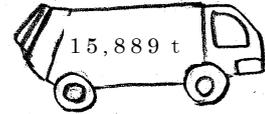


市全体 1日

市全体 1年



一人当たり



〈西岩堂うめたてしよ分場〉

平成 29 年度は1年間で 429t の
ゴミをうめ立てました。この処分場は
平成 31 年まで使います。

1日 1.0kg

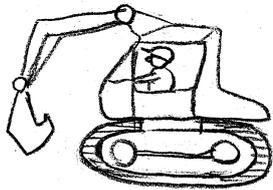
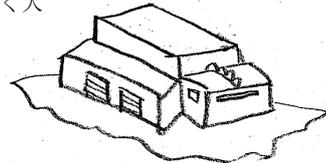
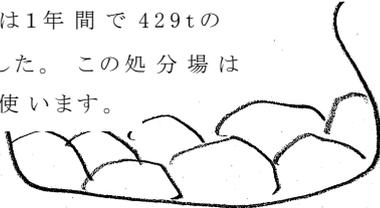
〈環境センターの広さ〉

環境センターで働く人

10 人

約 2800 m²

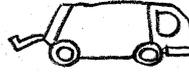
教室 40 こ分



西岩堂うめ立て地で働く人 3人



ゴミを集める人 28 人



パッカー車 13 台



トラック 11 台

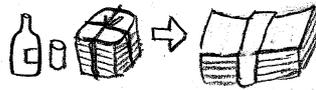
〈ゴミ収集車の数〉

1日 約 186 万円

1年 約 6 億 8000 万円



しげん物でえたお金 1850 万円



ゴミしよりにかかるお金

しげん物 せんべつしよしせつで働く人 10 人

(2017 年度 廃棄物対策課調べ)

ごみのしよりをしている人の話

三浦市は、平成 3 年より、いっぱんごみ、うめ
たてごみ、しげん物、そ大ごみの 4 つの分類に
分けて収集、その後、平成 14 年より、15 種類に
分別して収集しています。ごみの集め方を、ぜ
ひ知ってほしいと思います。また、生ごみの水
分をしっかりと出して出すルールをきちんと守っ
てごみを出してあると、しよきゃくしよ分
にかかるお金がずいぶんへります。市民のみなさ
んのちょっとした心づかいをお願いします。

◆これからのごみしより

三浦市では、年々ふえ続けているごみのしより方法として、「分ければ資源、混ぜればごみ」のスローガン^{しげん}をかかげ、ごみの再資源化^{さいしげんか}を行っています。

しかし、ごみのしよりにはたくさんのお金がかかります。

市では、ごみのしよりのよりよい方法を考え話し合っています。わたしたちも、ごみをへらす手だてを考えましょう。

リサイクルのマーク



プレスされたペットボトル



(編集委員撮影)